

PASSION  
FOR THE  
BEST

# テクニカル分析基礎講座 Vol.3

## 一目均衡表その他のチャート・需給分析編

商号等

大和証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第108号

加入協会

日本証券業協会、社団法人日本投資顧問業協会

社団法人金融先物取引業協会

大和証券

Daiwa Securities

本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

## お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

### 手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、株価の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては株価変動のほか、為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 非上場債券（国債、地方債、政府保証債、社債）を当社が相手方となりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。こうした銘柄については、外国証券内容説明書をご覧ください。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号  
加入協会：日本証券業協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、社団法人 金融先物取引業協会

# 目次

Vol.1 【 チャート分析編 】	1.トレンドの判定	(1)トレンドとは	4
		(2)トレンドの判定	4
	2.チャートパターン	(1)天井形成パターン	6
		(2)大底形成パターン	8
		(3)中段保ち合い	9
	3.支持と抵抗	(1)支持と抵抗とは	10
4.波動の測定	(1)同幅・同率	11	
	(2)倍返し	12	
	(3)半値戻し	12	
5.サイクル(日柄分析)	(1)株価のサイクル	13	
	(2)景気循環と株価	14	
6.ローソク足	(1)単独の足が持つ意味	15	
	(2)二本の組み合わせ	16	
	(3)酒田五法	17	
Vol.2 【 テクニカル指標編 】	1.価格指標	(1)移動平均線とは	3
		(2)ボリンジャーバンド	6
		(3)サイコロジカル・ライン	8
		(4)RSI	9
		(5)ストキャスティクス	10
		(6)MACD	11
		(7)レシオケータ	12
	2.エネルギー指標	(1)出来高・売買代金移動平均	13
		(2)逆ウォッチ曲線	14
		(3)価格帯別累積出来高	15
	3.質的指標	(1)騰落レシオ	16
		(2)先導株占有率	17
		(3)移動平均上位銘柄比率	18

大項目	中項目	小項目	ページ
Vol.3 【 一目均衡表 その他のチャート・需給分析編 】	1.一目均衡表	(1)一目均衡表	3
		(2)時間論・波動論・値幅観測論	6
	2.新値足	(1)新値足とは	9
		(2)作成方法	9
		(3)現実の株価推移と新値足	10
	3.ポイント・アンド・フィギュア	(1)ポイント・アンド・フィギュアとは	11
		(2)作成方法	11
		(3)各種分析	12
	4.需給分析	(1)裁定残	14
		(2)信用残	15

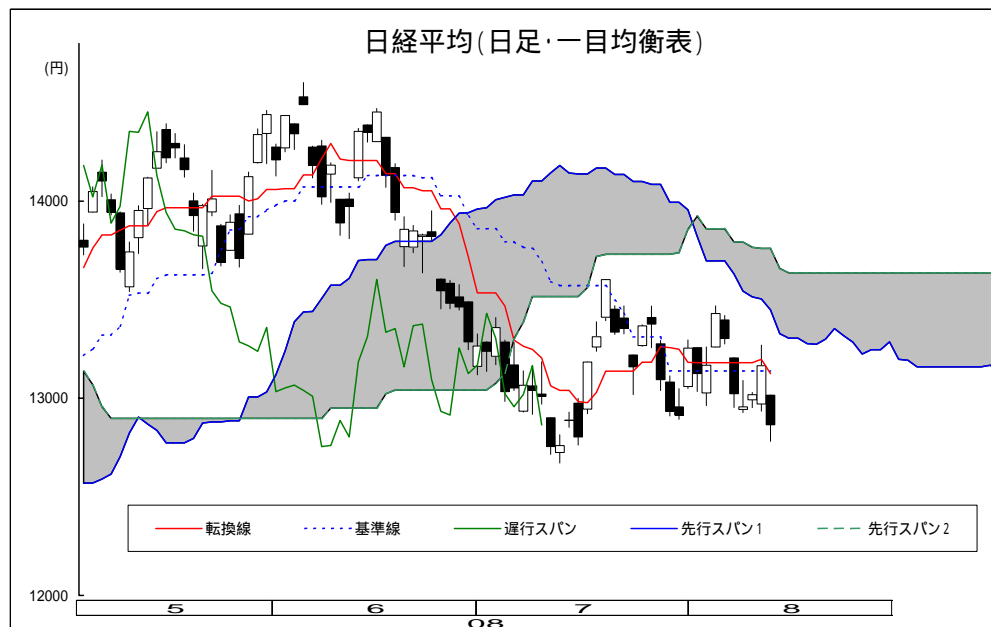
本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

# 1. 一目均衡表

## (1) 一目均衡表とは

弊社HP「多機能チャート」にて  
分析可能(P.17参照)。

一目均衡表は、転換線、基準線、先行スパン1、先行スパン2、遅行スパンといった一目均衡表独特の線の意味に加え、「時間論」、「波動論」、「値幅観測論」の3つの柱を理解し、これらを組み合わせることによって分析が可能となるものである。



## 一目均衡表の描き方

各線の描き方と算式は以下の通り

転換線	描き方	当日を含む過去9日間の最高値と最安値の中間値を当日の転換値とし、日々結んでいく。
	式	$\text{転換値} = (\text{9日間の最高値} + \text{9日間の最安値}) \div 2$
基準線	描き方	当日を含む過去26日間の最高値と最安値の中間値を当日の基準値とし、日々結んでいく。
	式	$\text{基準値} = (\text{26日間の最高値} + \text{26日間の最安値}) \div 2$
先行スパン1	描き方	転換値と基準値の中間値を当日を含む26日先に記入し、日々結んでいく。
	式	$\text{先行スパン1値} = (\text{転換値} + \text{基準値}) \div 2$
先行スパン2	描き方	当日を含む過去52日間の最高値と最安値の中間値を、当日を含む26日先に記入し、日々結んでいく。
	式	$\text{先行スパン2値} = (\text{52日間の最高値} + \text{52日間の最安値}) \div 2$
遅行スパン	描き方	当日の終値を26日さかのぼった地点に記入し、日々結んでいく。
	式	$\text{遅行スパン} = \text{当日終値} (\text{26日前の地点に描画})$

本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

# 1. 一目均衡表

## 各線の見方

### イ) 転換線と基準線

上げ相場なら転換線(9日)は基準線(26日)より上に、下げ相場なら逆となる。したがってこの二本が交差することは下げ(上げ)相場から上げ(下げ)相場への転換を意味する。

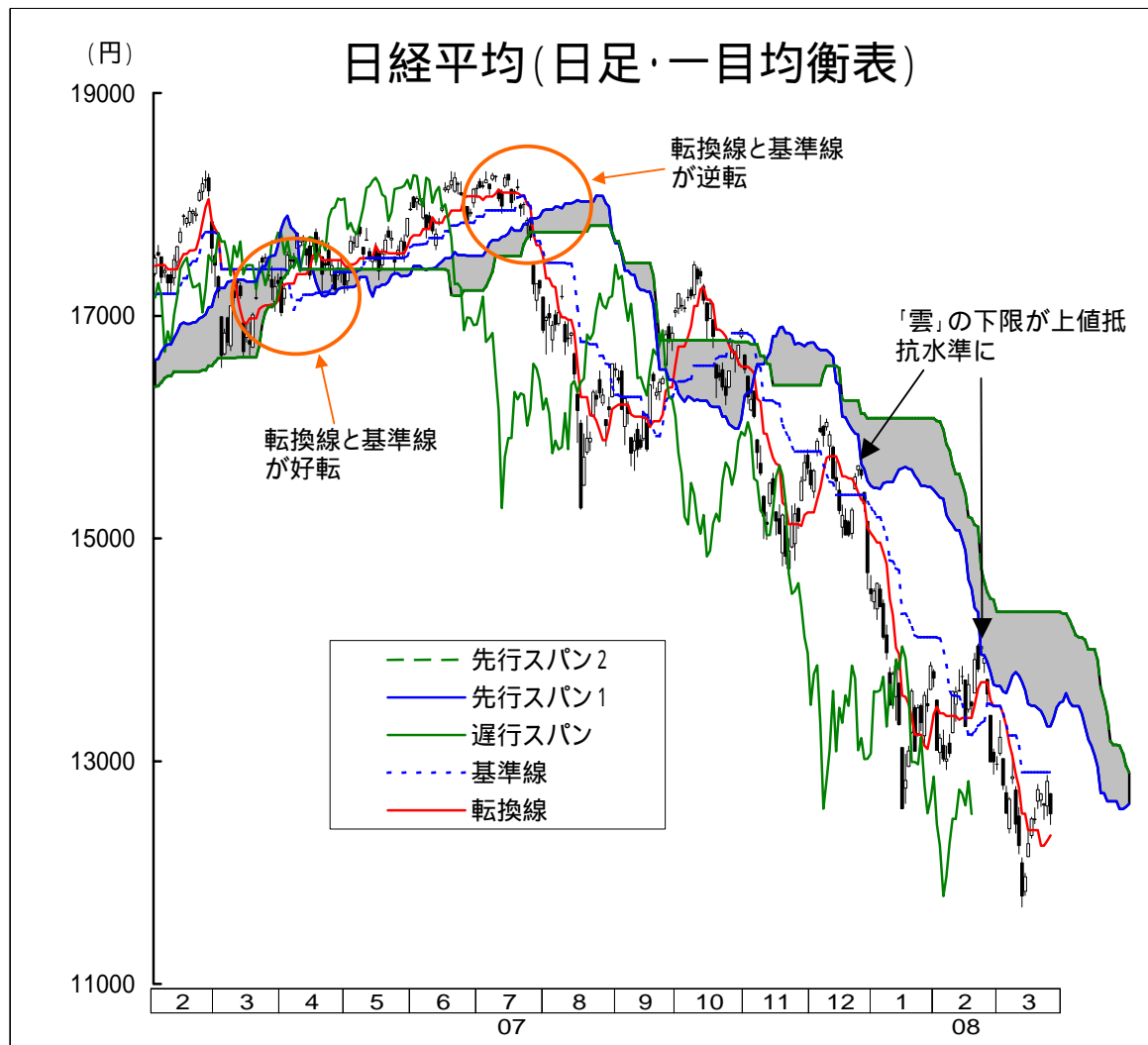
転換線が基準線を下から上に抜けることを「好転」と呼び、強気シグナルとなり、転換線が基準線を上から下に抜けることを「逆転」と呼び弱気シグナルとなる。

また、基準線の方も相場の方向性を判断する上で重要となる。

### ロ) 先行スパン 1・2(雲)

先行スパン1と先行スパン2に挟まれた価格帯は「雲」と呼ばれ、上値抵抗帯や下値支持帯になることが多い。

先行スパン1と2はその時々によって上下が逆になることがあるが、この二本が逆転する日や、その逆転の該当日にあたる日には相場の方向性に变化が生じやすくなる。



# 1. 一目均衡表

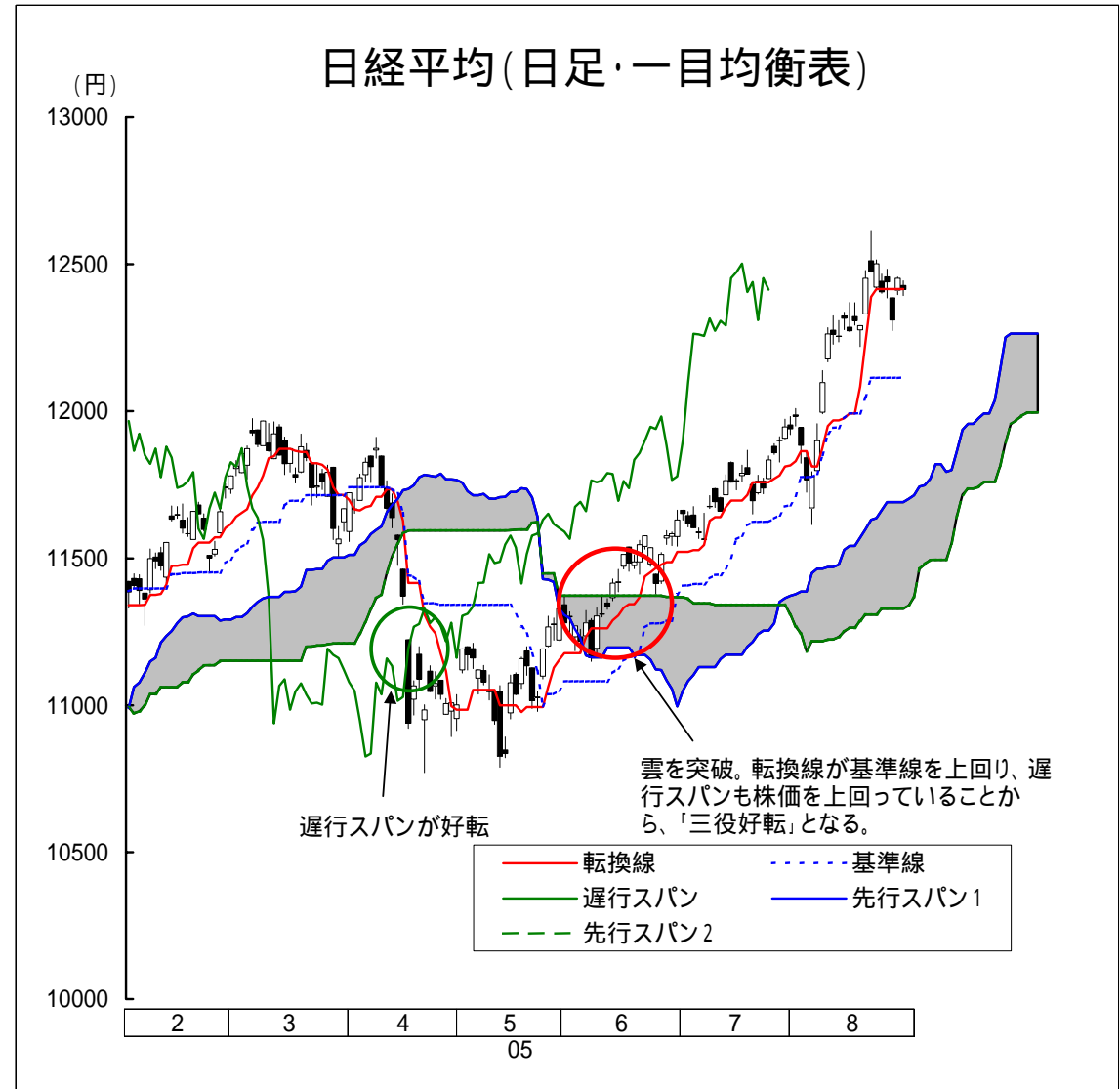
## 八) 遅行スパン

遅行スパンが26日前の株価を下から上に抜けることを「好転」と呼び強気シグナルとなる。逆に遅行スパンが26日前の株価を上から下に抜けることを「逆転」と呼び、弱気シグナルとなる。

## 二) 三役好転(逆転)

上記イ、ロ、ハについて全て強気シグナルが出ている状態、つまり 転換線が基準線を上回っており、かつ、基準線が上向きであること、 株価が「雲」を上回っていること、 遅行スパンが26日前の株価を上回っていること、以上3つが揃っている事を「三役好転」と呼び、もっとも強い強気シグナルとなる。

一方、その逆で3つ全てにおいて弱気シグナルが出ているときは「三役逆転」と呼び、最も弱い状態と言える。



# 1. 一目均衡表

## (2) 時間論・波動論・値幅観測論

### 時間論

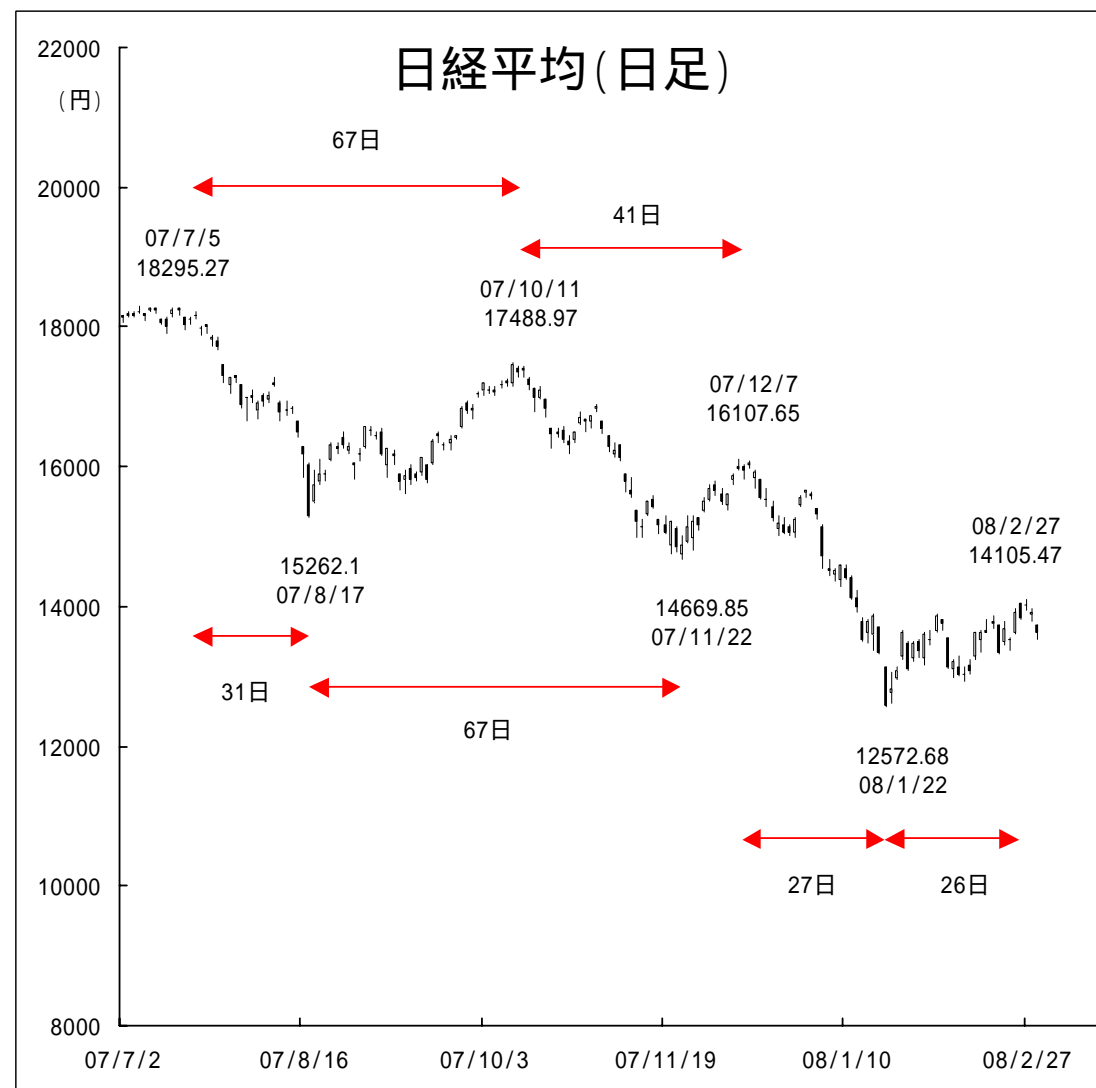
一目均衡表の世界では時間が重要視される。いつ目標値が達成されるのか、転換点はいつなのか、ということ予測するため、3つの単純基本数値と、それをもとに作られた10通りの基本数値が考案されている。

#### < 基本数値 >

基本数値	呼称	計算方法
9	一節	-
17	二節	-
26	一期(三節)	-
33	一期一節	$(17+17)-1$
42	一期二節	$(17+26)-1$
65		$(33+33)-1$
76	一巡(三期)	$(26+26+26)-2$
129		$(65+65)-1$
172		$(65+42+42+26)-3$
257		$(129+129)-1$

算式の後のマイナスは重複している数を引いている

以上の基本数値の前後には、これまでの方向性に変化が出る可能性が高いと言われている。



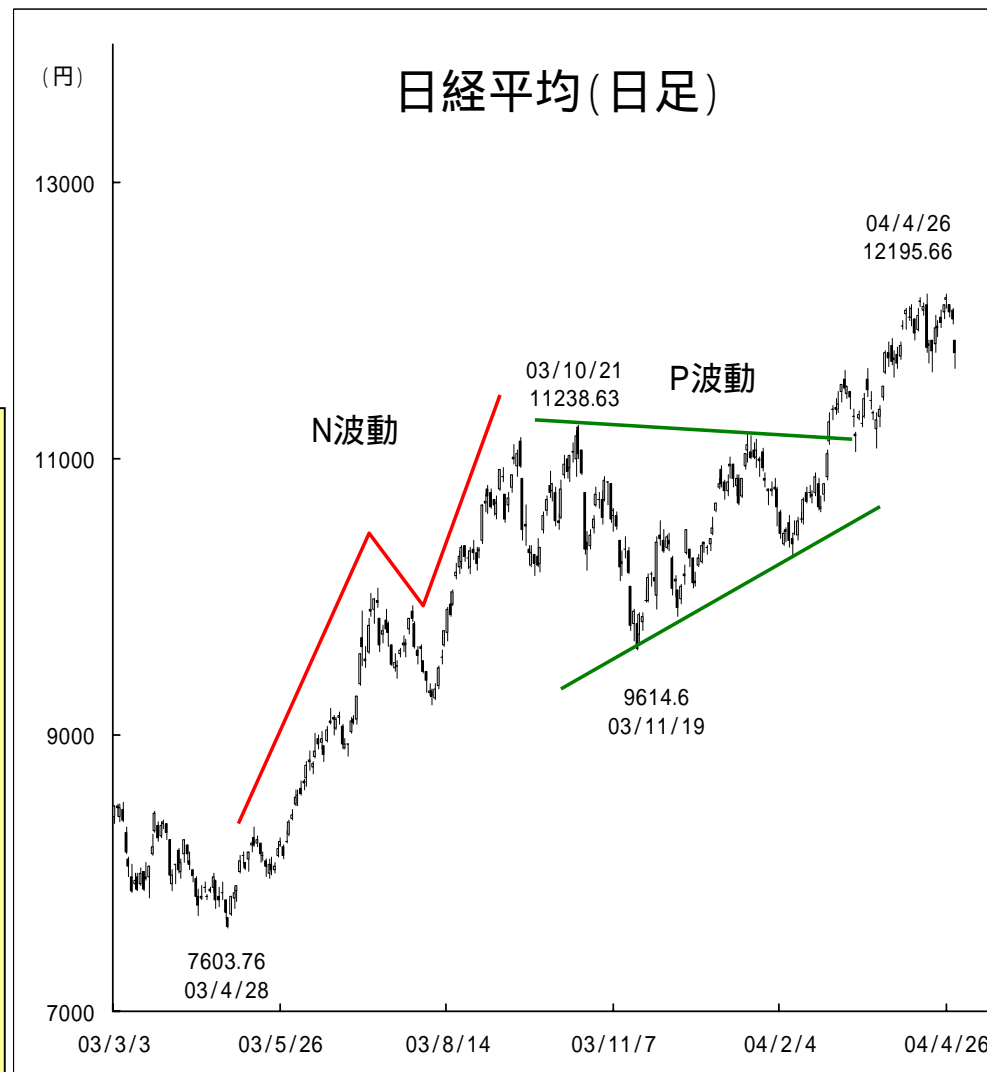
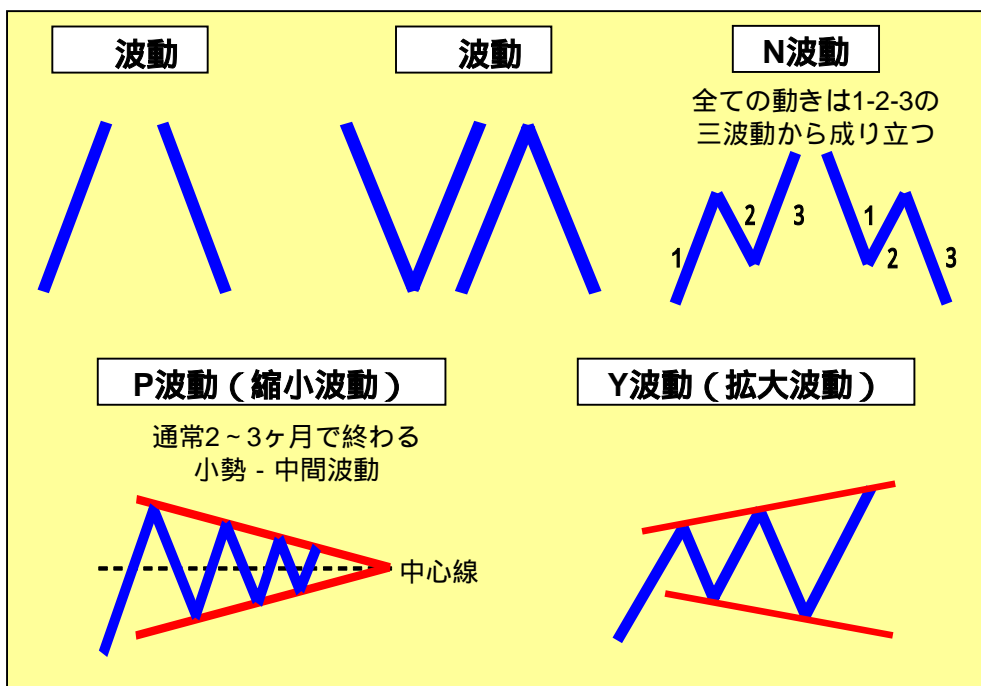
# 1. 一目均衡表

## 波動論

株価の日々の値動きによる上げ下げを省略し、ピーク・ボトムを抽出し、それを結ぶことによって「波動」を認識する。

この「波動」によって、現在の相場が上げ相場なのか下げ相場なのかを判断することが重要となる。

なお、I波動とV波動は組み合わさって最終的にはN波動となる。また、P波動、Y波動は中間波動であり、どちらかに放れた後、最終的にN波動となる。

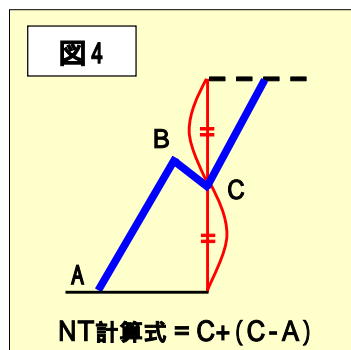
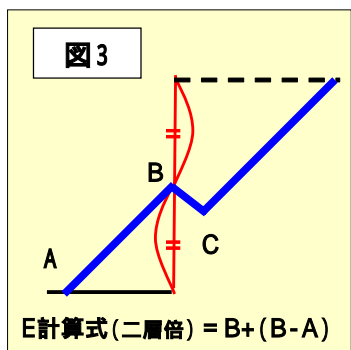
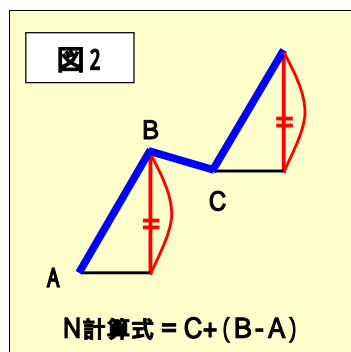
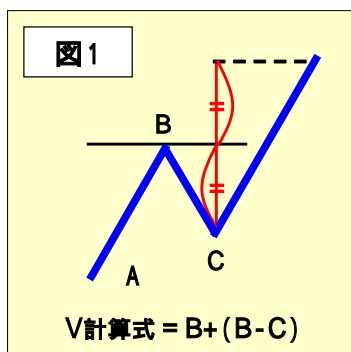


# 1. 一目均衡表

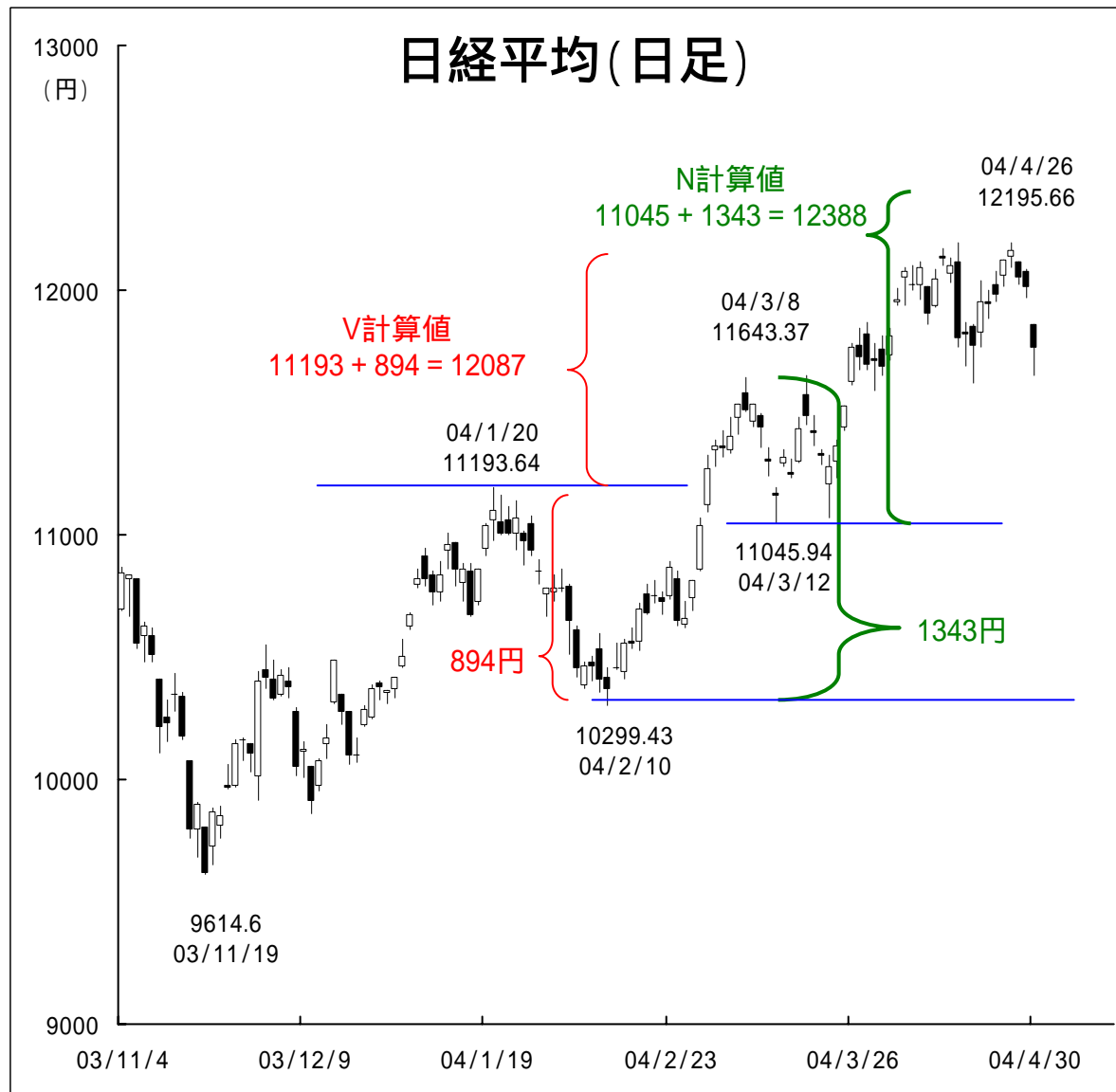
## 値幅観測論

上値メドや下値メドを探るための方法として値幅観測論がある。

一目均衡表においては以下の4つの基本パターンがある。



一目均衡表は上記の時間・波動・値幅と、P.4～5で解説した各線の現在の強弱を考慮しつつ、総合的な投資判断を行うものである。



## 2. 新値足

### (1) 新値足とは

弊社HP「多機能チャート」にて  
分析可能(P.17参照)。

通常のローソク足は日々新たな足が更新される「時系列チャート」だが、新値足は株価にある一定の変化が起きた時のみ足を追加していく「非時系列チャート」である。

株価の動きに一定の変化が出たときにのみ記入されるため、現在の株価の方向性やトレンドの変化を掴むのに有効である。

短期の分析に新値三本足(三線転換)、中期の分析に新値十本足(十線転換)を用いる。

### (2) 作成方法

終値が高値を更新したときや、明確に逆方向に転換したときにのみ記入する。1日目の1300円を起点として、その後、高値を更新するたびに陽線を記入する。直前の3本の罫線を割り込む調整となった場合に陰線が記入される(陰転と呼ぶ)。

陰転が売りシグナル、陽転が買いシグナルとなる。

### < 作成例 >

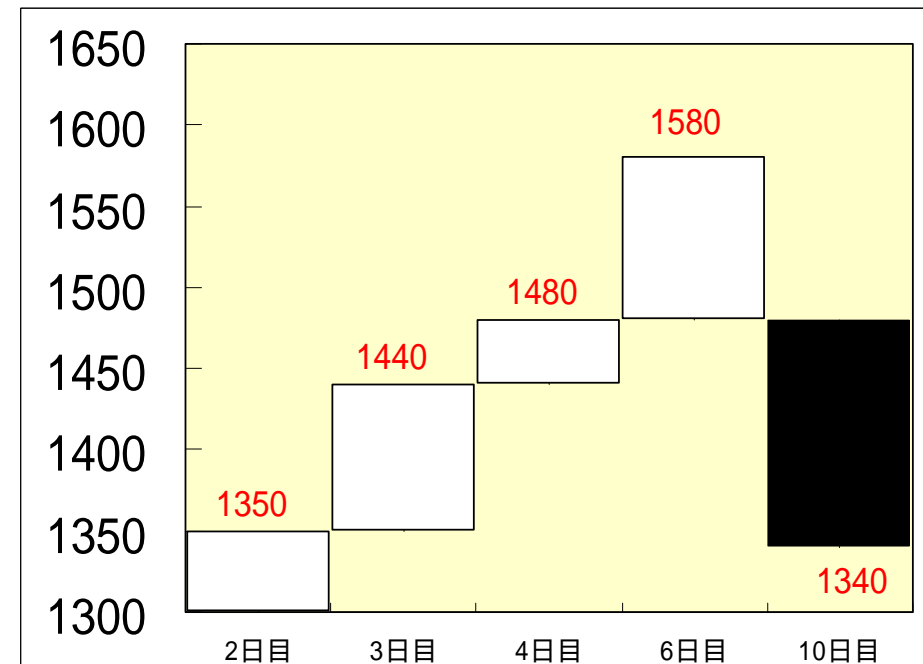
(表1)の様に推移している株価の新値三本足は(図1)のようになる。

赤字は更新時の株価で、実際には表示されない

(表1)

	終値
1日目	1300
2日目	1350
3日目	1440
4日目	1480
5日目	1470
6日目	1580
7日目	1500
8日目	1550
9日目	1400
10日目	1340

(図1)

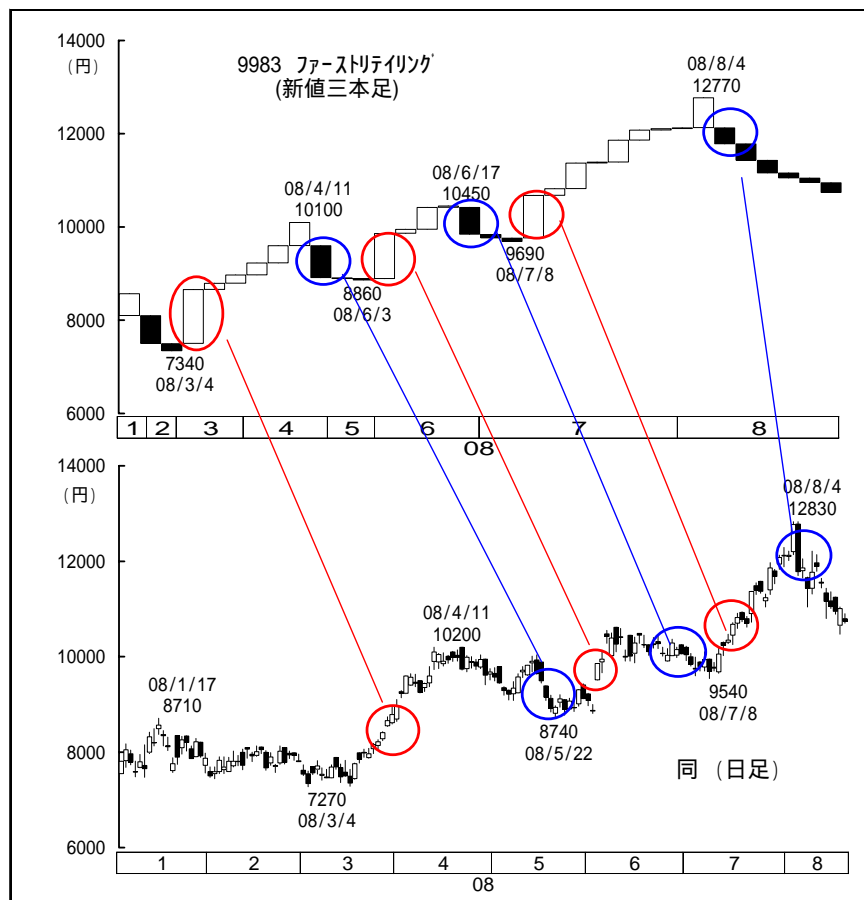


## 2. 新値足

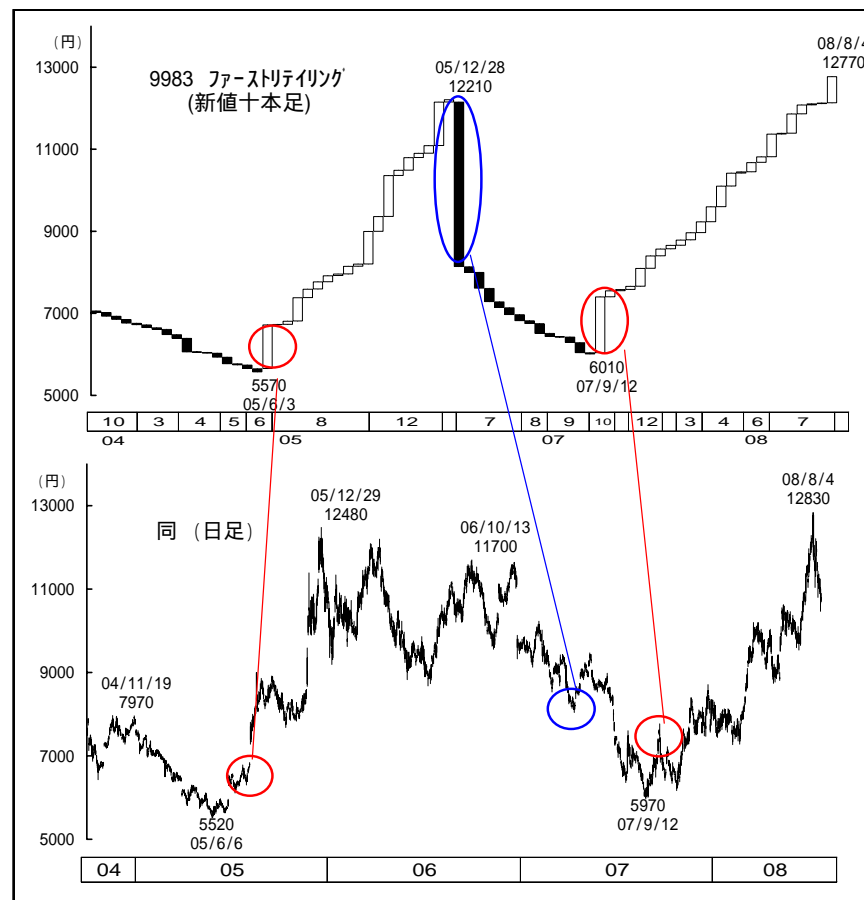
### (3) 現実の株価推移と新値足

短期の分析を行う場合には新値三本足を用いる(図2)。一方、中期の分析を行う場合は新値十本足を用いる(図3)。特に新値十本足は中期的なトレンド転換を示し、ダマシが少ない。

(図2) 新値三本足の例



(図3) 新値十本足の例



本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

### 3. ポイント・アンド・フィギュア

#### (1) ポイント・アンド・フィギュアとは

弊社HP「多機能チャート」にて  
分析可能(P.17参照)。

アメリカで一般的となっている非時系列チャートで、売買信号、トレンドラインによる長期傾向の捕捉、カウンティングによる目標値の算出など様々な分析手法があるのが特徴である。

#### (2) 作成方法

正方形のマス目（枠）を作成する。

各マス目の単位を設定する。通常の場合は以下の通り。

その銘柄の株価水準	各マス目の値幅
100円未満	2.5円
100円以上、200円未満	5円
200円以上、1000円未満	10円
1000円以上5000円未満	20円
5000円以上10000万円未満	100円
10000万円以上	200円

株価が上昇する時は×××、下落する時は で縦にそれぞれ  
の変化を表示する(各列には上昇か下降のいずれか一方のみを記入する)。

どの列にも必ず3マス以上の上昇か下降が書き込まれる。行を変化させる  
場合、上昇、下降とも1マス空けてから書き込む。従って、列を変える為には  
4マス以上の価格変化が必要となる。

<ポイント・アンド・フィギュアの例>

- ・08年1月18日～3月31日までの日経平均
- ・10000万円以上の株価のため、一マス200円でチャートを作成
- ・赤字の日付はチャートの記入日(実際には記入されない)

				日付	日経平均
14000			2/4	1月18日	13861.29
13800		×		1月21日	13325.94
13600	×	1/25	×	1月22日	12573.05
13400	×		×	1月23日	12829.06
13200	×		×	1月24日	13092.78
13000	×		1/28	1月25日	13629.16
12800	×			1月28日	13087.91
12600	×			1月29日	13478.86
12400		1/22		1月30日	13345.03
12200				1月31日	13592.47
12000				2月1日	13497.16
				2月4日	13859.7
				2月5日	13745.5
				2月6日	13099.24



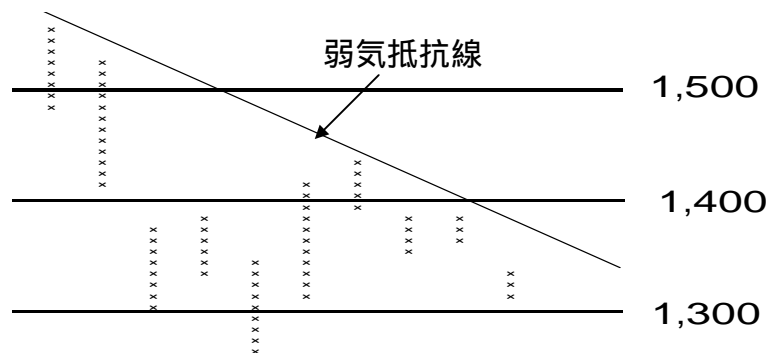
### 3. ポイント・アンド・フィギュア

#### トレンド分析

買い信号や売り信号が出て、それが「だまし」で終わってしまうケースがある。この「だまし」に惑わされないようにする為に、 のパターン分析を補助するのがトレンド分析である。

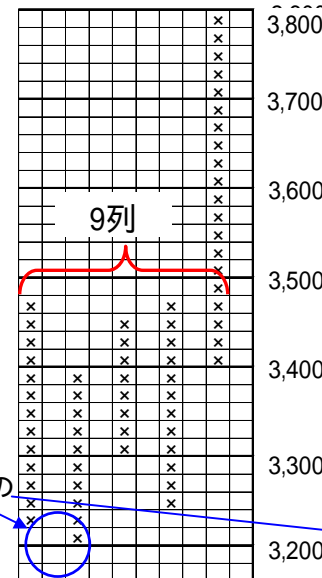
弱気市場が終了したと判断したら、その最も低い点から45度の角度で右上いっばいに線を引く。これが強気の支持線で、この45度線よりも上の売り信号は「だまし」となることが多く、株価がこの線まで下がっても反騰する場合が多い。下落相場に入ったときはその逆である（右図参照）。

<トレンド> 8306 三菱UFJ 06年2月～07年12月



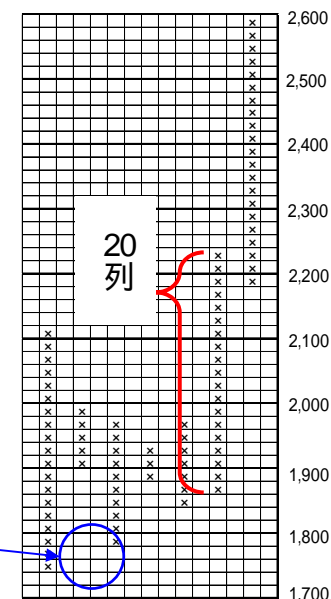
<水平計算> 6370 栗田工

08年2月～08年3月



<垂直計算> 7733 オリパス

02年12月～03年6月



#### 目標値算出(カウンティング)

##### (A) 水平計算

保ち合いを放れた後の動きは、その保ち合いが長ければ長いほど大きいという考え方に基づいている。

上放れの場合	$(\text{放れに要した列数} \times \text{マス単位} \times 3) + \text{保ち合い期間の最安値}$
下放れの場合	$\text{保ち合い期間の最高値} - (\text{放れに要した列数} \times \text{マス単位} \times 3)$

##### (B) 垂直計算

大勢転換後の最初の上げ幅がその後の上値目標を暗示するという考え方に基づいている。

上放れの場合	$(\text{放れに要した列数} \times \text{マス単位} \times 3) + \text{保ち合い期間の最安値}$
下放れの場合	$\text{保ち合い期間の最高値} - (\text{放れに要した列数} \times \text{マス単位} \times 3)$

本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

## 4. 需給分析

### (1) 裁定残

弊社配布資料「ダイワ投資情報ウィークリー」に掲載。

裁定残とは、先物取引で行われる裁定取引に伴い売買されている現物株で、まだ決済が終わっていない残高を言う。

### 裁定残高と株式相場

一般に、相場の上昇ピッチが高まる時に裁定買いが膨らみ、相場が下落すると裁定解消が増える傾向にあり、現物相場の動きに拍車をかける場合がある。よって、裁定買残が膨らむと相場下落時の「売り要因」として警戒される。

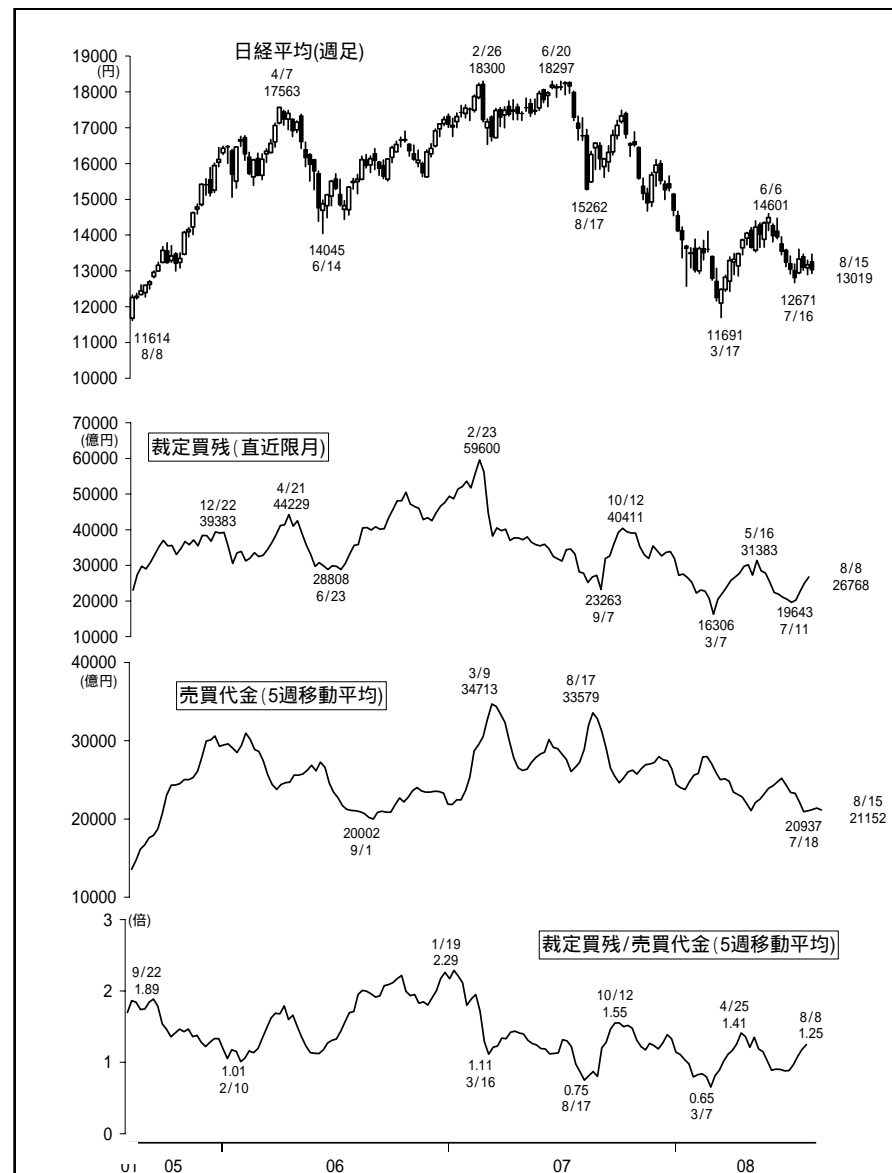
また、市場に対する影響度を考慮するため、裁定買残の水準だけでなく、市場の売買代金と比較することも重要である。

### 裁定取引とは

先物価格は理論上、現物価格より短期金利分だけ高くなる(先物を決済するまでの期間、資金を他の金融商品で運用すればその間の利息を受け取ることができるため)が、実際先物価格は理論価格とカイリすることがあり、状況により以下のような取引を行う。決済日には先物価格と現物価格は同じになるため、反対売買を行えば利益が得られる。

- ・ 先物価格 > 理論価格      先物売り、現物買い
- ・ 先物価格 < 理論価格      先物買い、現物売り

(理論価格 = 現物価格 + 現物価格 × 短期金利 × 残存期間 - 予想配当)



本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

# 4. 需給分析

## (2) 信用残

弊社配布資料「ダイワ投資情報  
ウィークリー」に掲載。

信用取引は証券会社から現金や株券を借りて行う証券売買で、通常6ヵ月の期日があり、期間内に決済する必要がある。

通常は反対売買により決済するため、買残が多い銘柄は将来の売り圧力があり、売残が多い銘柄は将来の買戻しが期待出来る。信用残を分析することで、将来の需給動向を予測することが出来る。

### 貸借倍率

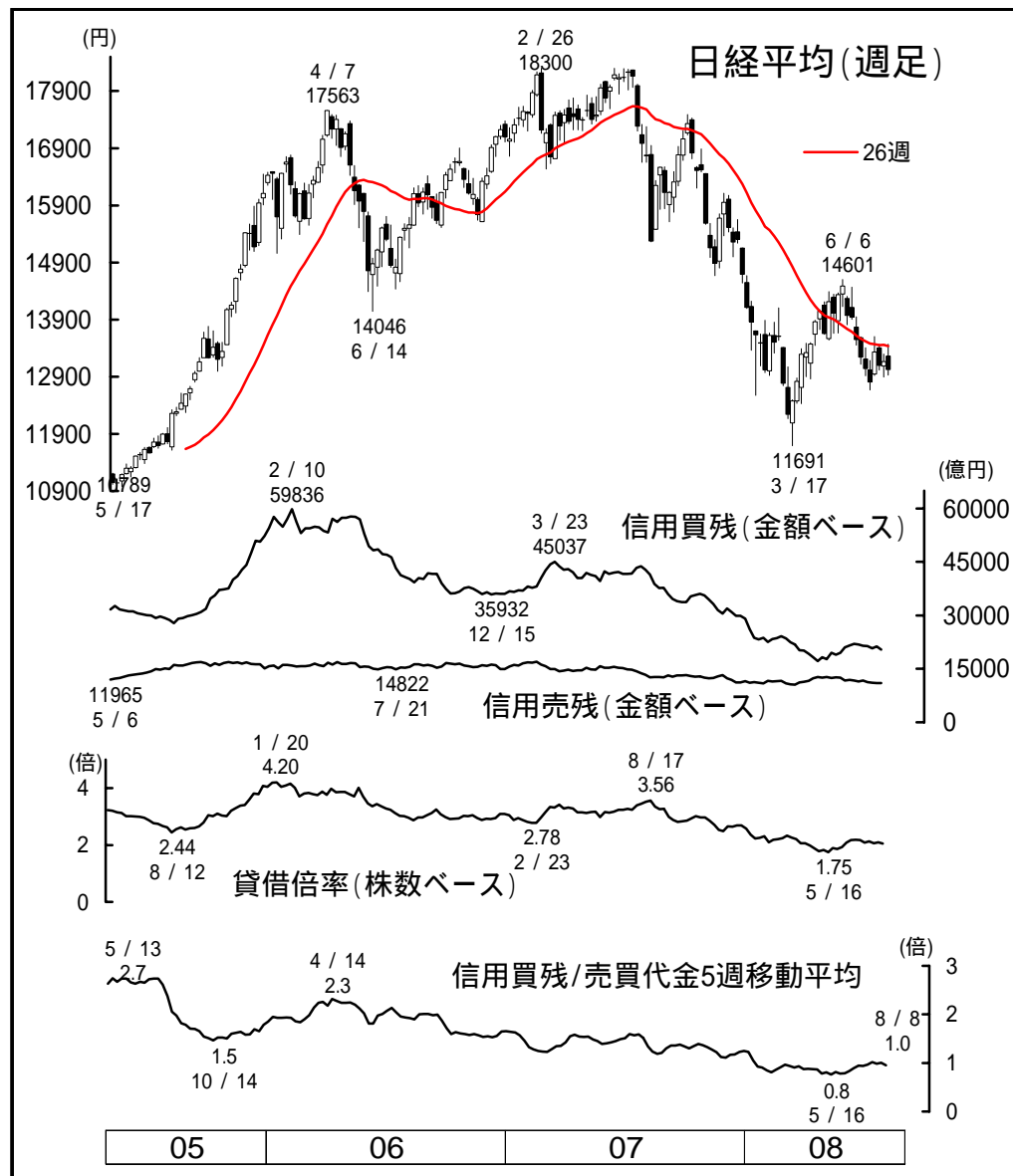
#### 【 計算式 】

$$\text{貸借倍率} = \text{買残} \div \text{売残}$$

#### < 見方 >

貸借倍率が高いということは、買残の水準が多いか売残の水準が少なく、将来の需給が悪いことを示している。一方、貸借倍率が低いということは、買残の水準が少ないか売残の水準が多く、将来の需給が良いことを示している。

ただし、信用残の水準が現在の出来高(売買代金)と比較して少なければ、需給に与える影響は小さい。現在の出来高(売買代金)も合わせて見ると、分析の精度が高まる。



## 4. 需給分析

### 信用評価損益率

弊社配布資料「ダイワ投資情報  
ウィークリー」に掲載。

信用で買い建てしている投資家の損益状況を推計した指標。  
通常は東証・大証・名証の三市場を合算したデータを用いる。

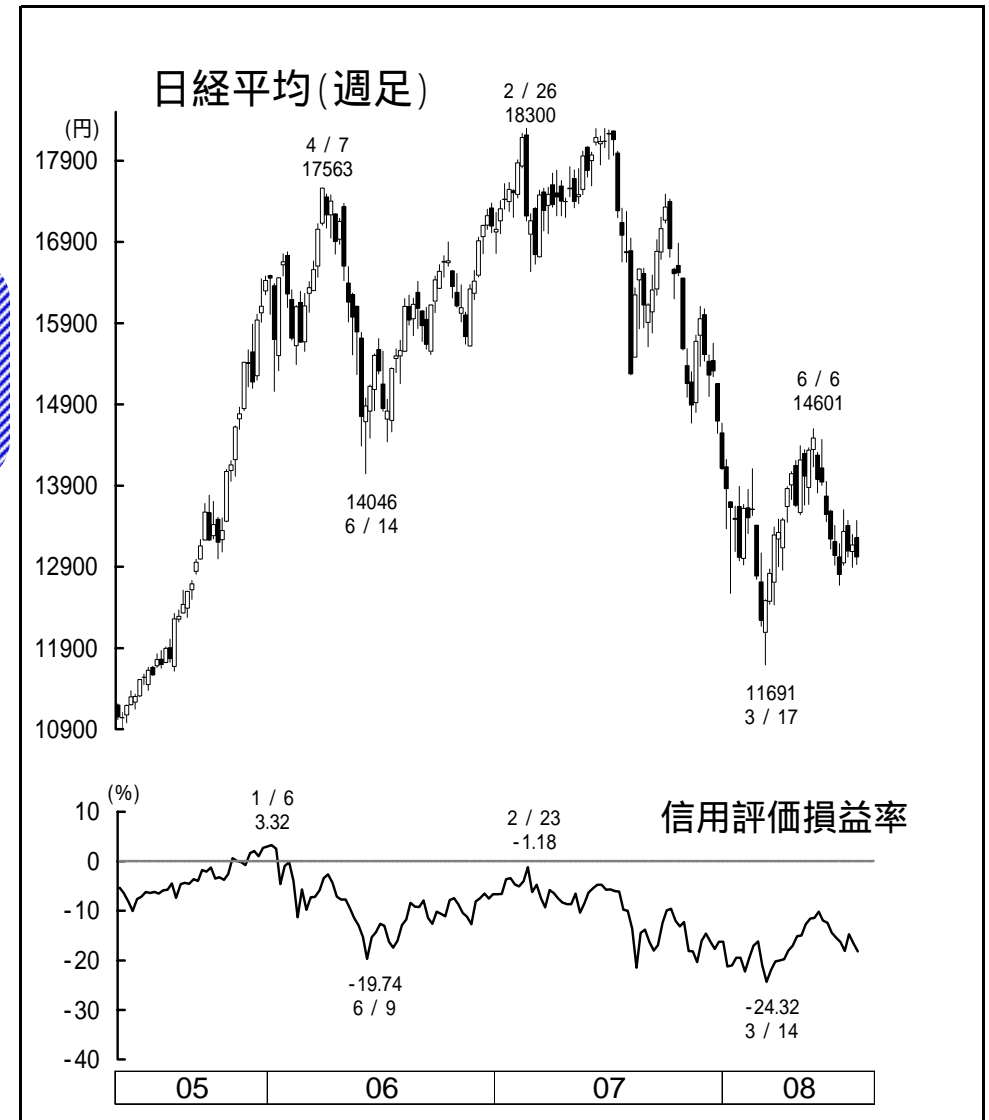
#### 【 計算式 】

$$\frac{(A) - (\text{貸借取引残高融資金額} + \text{自己融資金額} + \text{社内対当金額推計値})}{\text{三市場信用買残金額 (A)}}$$

- 1  
社内対当金額推計値 = 社内対当株数 ×  $\frac{\text{貸借取引残高融資金額} + \text{自己融資金額}}{\text{貸借取引残高融資金株数} + \text{自己融資金株数}}$
- 2  
社内対当は同一証券会社内において、同一銘柄の信用取引についての売り買いが対当する部分
- 3  
自己融資、自己貸株は同一銘柄の信用取引に必要な株券等及び資金を貸借取引に依存せず、自己が調達している部分。

#### < 見方 >

信用評価損益率は0%で相場のピーク、 20%を下回れば相場のボトムとなることが多い。



# 弊社提供チャート分析ツール 「多機能チャート」の使い方 ~ログイン後~

クリック

ホーム | ネット図書館 | 資産管理 | 信用建株明細 | 注文・約定照会 | 電子交付

**大和証券**  
Daiwa Securities

ホーム | Go | マーケット | 登録銘柄 | 残高/履歴 | 分析ツール | 口座情報 | サポート

**国内株式** | 開募売出 | 株式ミニ投資 | ランキング | 銘柄サーチ | 銘柄一覧 | ニュース

投資信託  
個人向け国債  
ダイワFX  
入出金  
ネットローン/LMS  
注文・約定照会  
電子交付  
[メニュー編集]

前回ログイン日時: 2008年06月26日(木) 12:38(インターネット)

◆ログインパスワード変更>>  
◆お預り金・ダイワMRFの残高の確認>>  
◆買付余力の確認>>  
◆交換ポイントの照会>>

eメンバー

◆取引残高報告書>> ◆eメンバー申込>>  
◆取引報告書>> ◆eメンバーとは>>  
◆特定口座年間取引報告書 交付方法変更

新スタジオから配信! New インターネットライブセミナー  
変わる中国経済 変わる対中投資  
「内憂外患」が新たな改革・開放の起爆剤  
講師: 大和総研 肖敏捷  
7月1日(火) 20:00~  
申込受付中! 詳しくはこちら▶

◀ 前へ 次へ ▶

◀ 「信用取引サービス」印紙代無料キャンペーン 実施中! ▶

ダイワのメールサービス | ダイワ外債HyperMap | ダイワの自動更新 株価ボード

06/17【ご注意】6月25日・26日に約定した株式注文に関するご注意

本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

# 弊社提供チャート分析ツール「多機能チャート」の使い方 ~ 多機能チャートの起動 ~

The screenshot illustrates the steps to access the Multi-Function Chart tool on the Daiwa Securities website:

- 1**: Click on the **銘柄サーチ** (Stock Search) link in the top navigation menu.
- 2**: Enter the stock code **8601** into the search input field.
- 3**: Click the **検索** (Search) button.
- 4**: Click the **多機能チャート** (Multi-Function Chart) button in the search results.

The search results for stock 8601 (大和証券グループ本社) show various options like **リアル株価**, **銘柄詳細**, and **株主優待**. The **多機能チャート** button is highlighted in purple.

# 弊社提供チャート分析ツール 「多機能チャート」の使い方 ~ 詳細設定 ~



設定してチャート描画 初期設定に戻す キャンセル

基本チャート	基本チャートオプション	追加チャート	値数	表示順
<input checked="" type="checkbox"/> ロウソク足	<input checked="" type="checkbox"/> 移動平均	<input checked="" type="checkbox"/> 売買高+信用残	1	1
<input type="checkbox"/> 折れ線	<input type="checkbox"/> 一目均衡	<input type="checkbox"/> 売買高+移動平均	1	-
<input type="checkbox"/> 新値足	<input type="checkbox"/> 回帰トレンド	<input type="checkbox"/> 売買代金+移動平均	1	-
<input type="checkbox"/> 時系列新値足	<input type="checkbox"/> フィボナッチ(戻り・ザラ場)	<input checked="" type="checkbox"/> 移動平均乖離率	1	2
<input type="checkbox"/> カキ足	<input type="checkbox"/> フィボナッチ(戻り・終値)	<input type="checkbox"/> RSI	1	-
<input type="checkbox"/> ポイントアンドフィギュア	<input type="checkbox"/> フィボナッチ(戻り・開値)	<input type="checkbox"/> ストキャスティクス	1	-
<input type="checkbox"/> 逆ウォッチ曲線	<input type="checkbox"/> フィボナッチ(戻り・開値)	<input type="checkbox"/> スローストキャスティクス	1	-
<input type="checkbox"/> 騰落指標	<input type="checkbox"/> ボリンジャーバンド	<input type="checkbox"/> サイコロジカルライン	1	-
<input type="checkbox"/> 騰落率	<input type="checkbox"/> バラボリック	<input type="checkbox"/> MACD	1	-
その他	<input type="checkbox"/> エンベロープ	<input type="checkbox"/> RCI	1	-
音響 <input checked="" type="radio"/> 白 <input type="radio"/> 黒	<input type="checkbox"/> ピボット	<input type="checkbox"/> ボリュームレシオ	1	-
余白右 <input type="radio"/> 0 <input type="radio"/> 20 <input type="radio"/> 40		<input type="checkbox"/> DMI	1	-
余白天地 <input type="radio"/> 0 <input type="radio"/> 10 <input type="radio"/> 20		<input type="checkbox"/> 強弱レシオ	1	-
高さ <input type="radio"/> 90 <input type="radio"/> 120 <input type="radio"/> 160		<input type="checkbox"/> モメンタム	1	-

本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

## テクニカル指標（2）－信用残・裁定残



P.15で解説



P.16で解説



P.14で解説

本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。